

第26回

秋田腎不全研究会

プログラム

日 時 : 令和4年12月4日(日) 10:00~17:05

会 場 : ハイブリッド開催

・現地開催(発表者、座長のみ): 秋田市にぎわい交流館AU(あう)2階 展示ホール
〒010-0001 秋田県秋田市中通一丁目4-1 TEL: 018-853-1133

・Web開催(一般参加者): Zoomのウェビナー機能を利用

会 長 : 秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学 教授 羽瀧友則

当番幹事 : 秋田赤十字病院 腎臓内科 部長 畠山 卓

主 催 : 秋田腎不全研究会

後 援 : 公益社団法人秋田県臨床工学技士会



■ ご参加されるみなさまへ ■

【発表者、座長、一般参加者 共通】

参加費1,000円は、オンラインでの受付となります。

URL「<https://www.mwt-mice.com/events/akita-urology2022/login>」(秋田腎不全研究会HP内にもリンクを掲載致します)からお入りになり、「申込受付システム」に、氏名、メールアドレス、ご所属、ご所属先の住所、郵便番号等をご登録頂き、参加費をオンラインカード決済にてお支払い頂きます。お支払い完了後、改めて視聴用URLが記載されたメールが届きます。そのURLにアクセスして頂きますと研究会への参加が可能となります。研究会終了後に、ご参加されたみなさまへ参加証をお送り致します。

1. 日本医師会生涯教育講座、生涯教育制度「2単位」取得が可能です。
2. 一般社団法人日本透析医学会、専門医制度「5単位」取得が可能です。
3. 一般社団法人日本腎不全看護学会、慢性腎臓病療養指導看護師認定「6ポイント」取得が可能です。
4. 一般社団法人日本腎臓学会、腎臓専門医資格更新のための「1単位」取得が可能です。
5. 公益社団法人日本臨床工学技士の血液専門臨床工学技士、認定制度「3単位」取得が可能です。

【一般参加者(研究会当日)】

上述の通り、参加費お支払い完了後、改めて視聴用URLが記載されたメールが届きます。Zoomのウェビナー会場に入室して頂きます。

【ご発表者の方(研究会当日)】

上述の参加受付を研究会前日までをお願い致します。

会場へ直接お越し下さい。マスク装着をお願い致します。

発表セッション開始30分前までに、PC受付にお越し下さい。USBメモリ、またはCD-Rでの発表データを提出、動作確認を行って下さい。

ご発表の10分前までに、会場内の「次演者席」にご着席下さい。

口演時間は「発表6分、質疑応答3分」です。座長の指示に従い、時間内での終了をお願い致します。発表方法は、PCを使用したPower Pointによるプレゼンテーションとなります。

事務局で会場に用意するPC環境は、Microsoft Windows10、Power Point2019です。

スライドを作成する場合は、基本的にスライドサイズを4:3に合わせて作成願います。16:9でも作成可能ですが、Zoomの【画面共有】時にご自身のビデオパネルが表示されるスペースをスライド右上付近に確保して下さい。スペースの確保が無いと発表データがビデオパネルで隠れて見えなくなってしまう場合がありますのでご注意下さい。Macintoshをご使用の発表者、スライドに動画が含まれる発表者はご自身のPCを持参されることを推奨致します。その際、PCの映像出力端子はHDMIが備わったものをご用意下さい。この端子がないPCをお持ち込み頂く場合には、別途変換コネクタを必ずご用意下さい。なお、動画等の参照ファイルは必ずPower Pointのファイルと同じフォルダに入れて下さい。会場では、各演者ご自身で舞台上の機材(マウス、

キーボード)を用いて、スライドの操作をして下さい。

後日、秋田腎不全研究会誌投稿用原稿を同雑誌規定に従い、図表を添えて、令和5年1月27日(金)までに「〒010-8543 秋田県秋田市本道1-1-1 秋田大学医学部附属病院泌尿器科内 秋田腎不全研究会事務局」宛に提出して下さい。

臨床工学技士/その他部門・看護師部門・医師部門の三部門において各一演題ずつ、優れた発表の方に、優秀発表賞として賞状と賞金5万円を授与致します。また、次点の方に、準優秀発表賞として賞状と賞金2万円を授与致します。受賞対象は筆頭発表者が、50歳未満の方の発表と致します。

利益相反の情報開示について：発表内容が臨床研究である場合には、筆頭発表者自身の過去1年間における、発表内容に関連する企業や営利を目的とする団体に関わる利益相反の有無をお示し頂きます(共同発表者の利益相反は開示不要。培養細胞や動物実験を使用した基礎研究に関しては対象外)。タイトルスライドの次などに利益相反自己申告に関するスライドを加えて下さい。

【座長の方(研究会当日)】

上述の参加受付を研究会前日までにお願い致します。

会場へ直接お越し下さい。マスク装着をお願い致します。

ご担当セッション開始時間10分前までに、会場内の「次座長席」にご着席下さい。

演者一人あたりの口演時間は「発表6分、質疑応答3分」です。時間内で終了頂けるようにご指示をお願い致します。

※幹事会は、12月2日(金)18:00よりWeb会議(Zoom)を用いた非対面形式において開催致します。ご参加される幹事の先生方にはメールと郵送でWeb会議ご参加用URLをお知らせし、幹事会資料も併せてお送り致します。

■開会の辞(10:00~10:05)

会長 羽瀨 友則

I. 臨床工学技士・その他部門

セッション1. 症例検討(10:05~10:32) 座長 大沢 元和(秋田赤十字病院 医療技術部血液浄化療法課長)

1. 当院におけるレオカーナの使用経験

秋田赤十字病院 医療技術部血液浄化療法課

○清水 有華、田口 愛菜、佐藤 公哉、成田 文侑、
加賀谷亮太、児玉 健太、利部 悠、大山 幸男、
大沢 元和
朝倉 受康、佐藤 隆太、畠山 卓

同 腎臓内科

2. 10年目を迎えたHHDの経過報告

(医)あけぼの会 こまち透析クリニック

○草薨 寿文、青柳 武志、熊地 望、寺邑 朋子
守澤 隆仁、泉谷 晴義、志戸田 優

同 花園病院透析室

3. 短時間で複数の透析監視装置に同一のアラームとパーツ交換を行った事例

JA秋田厚生連雄勝中央病院 臨床工学科

○伊藤 翼、坂田 達、千葉 あや、関口 和紀、
那須川 淳

同 腎臓内科

セッション2. 管理・指導・評価(10:35~11:11) 座長 利部 悠(秋田赤十字病院 医療技術部血液浄化療法課)

4. 超音波画像診断装置を活用したシャント管理の取り組み

社会医療法人明和会中通総合病院 血液浄化療法部

○庄司 裕太、新田 颯士、今西 望、高橋奈津希、
高島 俊介、武田 宜子、平塚 広樹、村上 亨、
佐々木 亘
秋濱 晋、石田 雅宣

同 泌尿器科

5. 当院におけるコロナ陽性患者への対応報告

能代厚生医療センター 臨床工学科

○木島 直央、酒樹 勤、佐々木和義、赤坂 杏純、
内藤 恭子、三浦 健太、佐藤 優奈、千葉 秀平、
佐々木奨多
小峰 直樹、久保 恭平、佐々木 禎

同 泌尿器科

6. 腹膜透析患者のエネルギーバランスから考察した至適栄養食事指導 - スマートウォッチ(Fitbit Versa2)を利用したデータ分析 -

北秋田市民病院 栄養科

○成田 彩耶、藤田 智保
湯瀬 達也、齋藤美桂子、佐々木隆聖

同 泌尿器科

7. 腎性貧血治療の実際 HIF-PH阻害剤への期待

雄勝中央病院 薬剤科

○佐藤 梨香、佐藤 浩保、今野 武志
小松田 敦

同 内科・腎臓内科

II. 看護師部門

セッション3. COVID-19・患者支援・指導 (11:15~12:00)

座長 三浦 洋子 (秋田赤十字病院 腎センター看護師長)

8. 当院透析室における新型コロナウイルス感染予防対策についての意識変化 ~机上訓練前後のアンケート調査より~

秋田厚生医療センター 腎センター

○織田 佳代、新林カンナ

9. COVID-19感染症に対する当施設外来透析患者の意識、行動調査

(医) 浜秋会 おのば腎泌尿器科クリニック

○渡邊明日香、佐藤 輝子、渡部 瑞恵、土田カヨ子、
田口 一美、河村美貴子、勝又 麻子、水木麻衣子、
吉原 優太、齋藤 静雪、伊藤 彩佳、染谷 早苗、
佐藤 良延

10. 体重管理が困難な透析患者の行動変容における支援 ~EASEプログラム®を用いて~

秋田赤十字病院 腎センター

○瀬田川優子、村上久弥子、三浦 洋子

11. 症例報告の活用と課題の取り組みについて ~腹膜透析導入症例報告より~

秋田大学医学部附属病院 一般外来
同 第二病棟2階

○川尻 愛子、佐藤智恵子
伊藤 歩、秋山みどり

12. フレイル診断からみえた外来血液透析患者の運動療法の必要性と課題

由利組合総合病院 透析センター

○加藤 洋子、畠山 梢、入江 智世、橘 千佳子、
三浦 信子、坊良 由可、小松 夕姫、今村専太郎、
高山孝一郎、千葉 修治

企業広告 (12:00~12:10)

■ 特別講演 1 (12:10~12:40)

共催：中外製薬株式会社

座長 秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学 教授 羽瀨 友則

『腎臓病対策の潮流と地域的課題』

岩手医科大学 医学部内科学講座 腎・高血圧内科分野 教授
同 附属病院 腎センター センター長

アサヒ コウイチ
旭 浩一 先生

■ 特別講演 2 (12:45~13:15)

共催：キッセイ薬品工業株式会社/株式会社三和化学研究所

座長 秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学 教授 羽瀨 友則

『カルシウム代謝治療の現状と課題』

昭和大学医学部内科学講座 腎臓内科学部門 准教授

ミゾブチ マサヒコ
溝瀨 正英 先生

企業広告 (13:15~13:25)

■ ランチョンセミナー (13:25~14:25)

共催：協和キリン株式会社

座長 秋田赤十字病院 腎臓内科 部長 畠山 卓

『心腎貧血症候群を深掘りする』

東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科 教授

ジョウキ ノブヒコ
常喜 信彦 先生

企業広告 (14:25~14:35)

■ 第10回 秋田腎不全研究会奨励金「受賞発表」 (14:35~14:45)

座長 秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学 教授 羽瀨 友則

『スマートウォッチ活動量計 (fitbit versa 2) を用いた腹膜透析患者の運動量に関する研究』

北秋田市民病院 泌尿器・透析室

○湯瀬 達也、佐藤 優花、堀部 智子、齋藤美佳子、
佐々木隆聖
成田 彩耶、藤田 智保

同 栄養科

■ 第11回 秋田腎不全研究会奨励金「表彰」(14:45~14:50)

『近代的免疫抑制プロトコル下における腎移植患者の帯状疱疹の危険因子の検討』

秋田大学医学部附属病院 泌尿器科

サゲハシ リュウイチロウ
○提箸隆一郎

Ⅲ. 医師部門

セッション4. 症例・臨床検討(14:55~15:40) 座長 佐藤 隆太(秋田赤十字病院 腎臓内科副部長)

13. プロテインC活性低下を伴う免疫学的ハイリスク症例に対し生体腎移植を施行した1例

秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座

フリハタ ケンゴ
○降幡 研吾、齋藤 満、青山 有、高橋 佳子、
関根 悠哉、提箸隆一郎、小林 瑞貴、嘉島 相輝、
山本 竜平、奈良 健平、沼倉 一幸、成田伸太郎、
羽瀨 友則

14. 濾胞性リンパ腫による腎後性腎不全を血液透析で管理した一例

平鹿総合病院 泌尿器科

カジワラ チカ
○梶原 知佳、鈴木 丈博、伊藤 卓雄、五十嵐龍馬、
藤田菜々子

15. 腸管利用膀胱拡大術後20年目に腎後性腎不全のため透析導入に至った1例

国立病院機構水戸医療センター 泌尿器科

オカダ シュウヘイ
○岡田 脩平、齋藤 拓郎、市村 靖、飯沼 昌宏

16. 本邦最高齢の献腎移植症例の経験

秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座

サゲハシ リュウイチロウ
○提箸隆一郎、齋藤 満、吉田 昇修、菊池 茜恵、
山本 竜平、小林 瑞貴、嘉島 相輝、奈良 健平、
沼倉 一幸、成田伸太郎、羽瀨 友則

17. 当院におけるCAPD+HD併用療法(ハイブリッド透析)の検討

市立秋田総合病院 泌尿器科

サトウ チナミ
○佐藤知奈美、高橋 誠、三浦 喜子、里吉 清文、
前野 淳、石田 俊哉

セッション5. COVID-19(15:45~16:30) 座長 立木 裕(医療法人杜の樹 立木医院院長)

18. 新型コロナウイルスmRNAワクチン接種が契機となり診断に至ったIgA腎症

あきた 腎・膠原病・リウマチクリニック
秋田大学 血液・腎臓・膠原病内科学

トガシ マサル
○富樫 賢
橋本 眞子、金澤 達郎、加賀 一、齋藤 綾乃、
阿部 史人、齋藤 雅也、高橋 直人

19. COVID-19感染後二次性器質化肺炎を併発し、人工呼吸器管理を要した血液透析患者の一例

秋田厚生医療センター 腎臓内科

オオタニ ヒロシ
○大谷 浩、後藤 博之、多田 光範、小澤 政豊

20. 当院における透析患者コロナ感染報告

大曲厚生医療センター 泌尿器科

モリ カナミ
○森 奏美、灘岡 純一、神崎 正俊、熊澤 光明

21. 当院におけるSARS-CoV-2陽性維持透析患者の検討

由利組合総合病院 泌尿器科

タカヤマ コウイチロウ
○高山孝一郎、小松 夕姫、今村専太郎、千葉 修治

22. 免疫抑制患者における新型コロナウイルス mRNAワクチン接種後の抗体価推移

あきた 腎・膠原病・リウマチクリニック

トガシ マサル
○富樫 賢

■ 総会(16:30~16:40)

会長 羽瀨 友則

■ 事務局からのお知らせ(16:40~16:50)

秋田腎不全研究会 事務局長 齋藤 満

■ 優秀発表賞の発表(16:50~17:00)

当番幹事 畠山 卓

■ 閉会の辞(17:00~17:05)

副会長 大谷 浩